

令和6年度 学校評価についてのまとめ

1 成果

- (1) 本年度、学校評価項目の見直しを図り、教職員・保護者・児童の項目ごとの統一を図った。
- (2) 本年度より、評価方法をForms一本化とした。
- (3) 岩舟地区小中一貫教育において重点項目の共通理解を図っている。
- (4) 教職員・保護者において、昨年度の肯定的な意見を上回る項目が多かった。
- (5) 「1学校は楽しい」「2友達となかよし」「15安全教育」「16情報の発信」「17相談しやすい」「18学校行事の充実」「19ボランティアとの活動」については、3者とも良好な結果であった。
- (6) 学校運営協議会において委員の皆様と活発な協議をすることができた。

2 課題

- (1) 保護者・児童において、「8正しい姿勢（立腰）」の項目が一番低い値を示している。次いで、「20メディア視聴時間」の項目が低い数値となっている。保護者・児童にとって大きな課題である。
- (2) 「3あいさつ」「4言葉遣い」「5話を聞く」「12基礎基本の定着」については、教職員側の評価が低い。

3 成果と課題を踏まえた今後の取組

- (1) 岩舟地区の課題について、一斉に取り組んでいるため他校との情報交換がよくできているが、あいさつ・返事、立腰、自主学習への取組等について、まだまだ課題が残る。今後も継続して指導していきたい。
- (2) PTAや地域とのさらなる連携を目指し、児童の発達段階に応じた指導・支援に努める。
- (3) 充実した学校行事と教職員の働き方改革を意識した特色ある学校づくりを推進する。